

令和3年度大和善隣館は、SDGs宣言をしました。蓮代寺こども園では自分たちでできるSDGsってどんなこと？と職員で研修や話し合いを重ねています。今年度は、蓮代寺こども園の教育・保育方針の三つのゼン（安全・自然・積善）の中にもある、自然から学ぶところを育めるように、子どもたちと一緒に様々な活動を行っています。

食にまつわる活動



今年度も春より、子ども達と一緒に様々な野菜を育てています。自分で育てた野菜を残さず食べようとする気持ちや、生長を見ることが植物への関心や自然を大切にしたい気持ちが芽生えると思っています。苦手な野菜でも栽培から収穫、クッキングで味わう等、子どもたち自身が関わる事で食を大切に思う気持ちが育ち、食品ロスの削減にもつながっていくと考えています。また、毎日食べている給食はJA あぐりから取り寄せ、安全で新鮮な野菜やお米を食べています。これらの地産地産の取り組みは輸送にかかる燃料費の削減やそれによるCO2の削減にも関わります。

ひまわり組（5歳児） 梅干し作りをしました

木場湯公園に遊びに行った時に落ち梅を発見し、「いい匂い〜」「いっぱい拾ったよ」と嬉しそうに拾う姿が見られました。そこで、みんなで梅干し作りをすることにしました。Aちゃんの祖父母宅で梅の収穫体験から始まった梅干し作りは、シソの栽培・収穫、塩漬け、シソ漬け、天日干しととてもたくさんの工程があることや時間がかかることを知る事が出来ました。また、工程を重ねるにつれ、形や匂い、色が変わることに驚いたり不思議そうにしたりたくさん気づきがありました。



作る苦勞・食べる喜び



ゆり組（4歳児） 甘〜いとうもろこしを作りたい！

ゆり組は、子ども達と話し合い、とうもろこしを植えました。ある日、とうもろこしを見にいくと、茎にアリがたくさんついていました。よく見ると、黄色い卵のような物や、小さい幼虫がうじゃうじゃいました。虫が大好きなゆり組さんは興味津々！「この葉っぱ、食べられとるよ〜」と、葉の様子に気が付いた子もいます。なんの幼虫だろう？と調べると、卵や幼虫の正体は「アワノメイガ」で、とうもろこしにつきやすい害虫でした。「虫がつく程美味しいとうもろこしなのかな？」とみんなで話しながら水やりをするたびに茎や葉を観察し、生き物がいないか探していました。収穫したとうもろこしで、子どもたちと一緒にコーンパンやとうもろこしごはんを作りました。



野菜を育てる中での生き物との出会い

たんぽぽ組（3歳児） きゅうりとなすを作ろう！

子ども達と一緒にきゅうりとなすを育てました。野菜を収穫すると、「とげとげきゅうり！」「おおきい〜」と大きく生長した野菜に大喜びでした。保育者が子ども達の目の前できゅうりを切って見せると、「種ある」と興味津々で断面を覗き込んでいました。きゅうりは塩もみに、なすは味噌汁にしようとして、自分達の育てた野菜を嬉しそうに食べ、たくさんおかわりしていました。また、収穫したことで、粘土遊びをした時に野菜を作って表現したり、ままごとで野菜のお料理をしたりして遊ぶ姿も見られました。



野菜への関心が広がる



ちゅうりっぷ組（2歳児） きゅうりを育てました

水やりをしながら育ててきたきゅうりが実り、子ども達と一緒に収穫をしています。自分で収穫することで、「これ〇〇が採った！」と愛着が湧いていました。きゅうりを触ってみると「ぶつぶつやね」「痛いね」と言いながらそーっと触る姿が見られました。取れたての野菜を給食室に持って行き、スティックきゅうりにしてもらったり、きゅうりの塩もみを作ったりして食べると、野菜が苦手な子も「おかわり！」「おいしい〜」と言ってパクパク食べていました。



食べることへの期待

りす組（1歳児） 食材に興味津々です

毎月19日は食育の日で、その日の食材が掲示されます。小さい年齢の子どもたちも直接食材に触れられるようにと、給食の先生が保育室に持って来てくれました。興味津々の子ども達は人参や小松菜等を次々に抱えたり、玉ねぎは指先を使って皮をむこうとしたり、口を開け食べようとする子もいました。また、野菜の絵本と見比べて「一緒」と保育者とのやり取りを楽しみました。



見て・触れて・味わう

ひよこ組（0歳児） 本物に触れる。

他のクラスの育てた野菜を見たり、触れたりしています。保育者と一緒に外に出て、プランターで育てているゴーヤときゅうりを収穫しました。取れたての野菜を子どもたちに見せると手に取って眺めたり、指や手のひら全体で、でこぼこした箇所をそっと触ったりしていました。小さい年齢でも本物に触れる機会を大切にしているので、これまでもイチゴやじゃがいも、人参、朝顔の花の色水等を保育室に持ってきて直接触れています。



素材に直接触れ

社会福祉法人大和善隣館のSDGs宣言「6つの目標」の内、次の3つについて、子ども達とともに取り組みます。



太陽光発電活用等を通じてCO2排出の削減に努めます。



安全で快適な施設整備、防災教育、地域連携等により園児・児童の安全の確保を推進します。



ICTを活用したペーパーレス化及び食品ロスの削減を推進します。

グリーンカーテン

ランチルームの前のグリーンカーテンが青々と生い茂り、ゴーヤや色とりどりの朝顔が咲き誇っています。グリーンカーテンは、見た目にも涼しく、窓から入り込む夏の強い日射しを和らげ、室内の温度上昇をおさえることが出来る地球に優しいカーテンです。涼しさだけではなく、朝顔は色水遊びをしたり、ゴーヤは給食の先生に調理してもらって食べたりしています。苦さのあるゴーヤですが佃煮にしてご飯の上にのせると、「おいしい！」とご飯が進み、子ども達には大人気です。

